



第2回 全体会（令和3年12月22日開催）

資料4

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	村井副議長	【ごみ捨ての外国語表示について】 ごみ収集場所に、ごみの不法投棄が見られる。 ごみ収集場所の説明が日本語でしか書かれていないので、外国語表記でルールをお知らせすることを検討して欲しいです。	不法投棄については、警察とも連携しながら対応しています。 外国語表記については、市民局等と連携し進めているところです。	当日の回答のとおり	市民協働課
2	村井副議長	【西成区のイメージアップについて】 こどもが就学年齢になると他区へ転出するという話を聞いた。西成区ではあいりんを中心にイメージ転換を図っているが、あいりんだけではなく、例えば玉出地区を優れた住宅地としてイメージアップを図るなど、若い人を誘引するということも必要なのではないかと思います。	西成特区構想の中でも子育て世帯に来ていただけるような取組を行っており、西成区のイメージアップが非常に重要であると考えています。西成から出ていかず、入ってきていただけるように施策を進めたいと思います。	当日の回答のとおり	総務課
3	甲斐田委員	【こども食堂について】 ・こども食堂が区内に14ヶ所とありますが、実際何ヶ所あるのかを区で把握されていますか。 ・食堂を開催している場所と、こども食堂に色々な物資の支援を行っている団体があります。食堂が開催されている場所にいろんな物資は支援されているんでしょうか	・区役所で把握しているこども食堂は14ヶ所になります。こども食堂は個人で開設されているところもあるため、社会福祉協議会と連携し、情報収集に努めています。 ・社会福祉協議会に物資等の支援ネットワークがあります。また、こども食堂のネットワークを構築している団体も2つ把握しています。情報をいただきましたら、区役所も連携をしていきたいと思っています。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)
4	伊藤(悠)委員	【こどもの声について】 こども自身がどのような思いや困難、希望を持っているのかを知る必要があると思っています。昨今注目されているヤングケアラーなど、こども自身の声を聞くことが施策に反映されるといいなと思っています。	こどもの声を直接聞く場というものが現状なかなかない状況です。ヤングケアラーについても、大阪市として取組みを始めたところで、学校と連携しながら気持ちを含めて聞いていければと思っています。 いただいたご意見につきましては真摯に受け止めて、今後考えていきたいと思っています。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
5	越村議長	【第2期地域福祉計画について】 地域福祉計画について、もっと区民が説明を聞く機会があれば、より区民の理解が進むと思うので、検討をお願いします。	第2期地域福祉計画については、できる限り分かりやすく、かつ地域ごとの特性を生かして課題を解決することが肝となっています。 社会福祉協議会とともにできる限り説明を尽くしたいと思います。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (地域福祉)
6	尾上委員	【不法投棄等について】 ・玉出の方に不法投棄があるが、個人の所有地なのでなかなか解決しない。不法投棄が1つでもあると地域のイメージに大きな問題が生じると思います。 ・天下茶屋東で家の崩落事故があったが、西成区のマイナスイメージが発信されてしまった。その後の対応を広報する必要があると思います。	—	・不法投棄については、西成警察署等の関係機関と連携しながら対応しております。今後も引き続き関係機関と連携して対応します。 ・崩落事故の現場では、建設局の工事によって道路の復旧が行われています。その内容は、近隣住民に対してチラシ配布により周知されています。区からの広報については状況をみながら考えてまいります。	市民協働課
7	橋本委員	【迷惑駐輪について】 狭い歩道の片側に駐輪し、もう片方に店の看板が出ていたりして、人とすれ違うことも難しいことがある。特に花園町駅周辺が多い。少しの間ということで店前の歩道に駐輪して買物に行く人もいます。 車椅子の方、ベビーカーを押している方もいるので、皆さんがスムーズに通行できるようになればいいと思います。	迷惑駐輪については、警察・建設局・店舗の方等と連携して対策に取り組んでいます。花園町駅周辺も特に力を入れて確認しており、状況を分析しながら対策を進めて行きたいと思っています。 お気づきの点をお聞きしながら、地域の皆さまと取り組みを進めて行きたいと思っています。	当日の回答のとおり	市民協働課
8	辻岡委員	【あいりん地域対策について】 あいりん地域の表記について、「あいりん地区」と「あいりん地域」の2つ言い方に違いはあるのでしょうか。	一般的には、「あいりん地区」との表現が多く見られますが、行政では「あいりん地域」との表現を使用しています。	当日の回答のとおり	総務課
9	南委員	【孤独死の防止について】 コロナ過で隔離されている状況の中、孤独死を避けて欲しいと思っている。週に1回でも人に会うと認知症を予防できるデータも出ている。ふれあい喫茶や100歳体操をもっとアピールして欲しいです。	—	・地域活動の情報発信については、区広報紙1月号に掲載しており、区Facebookへの投稿など引き続き地域での活動を発信してまいります。(市民協働課) ・100歳体操は、区内30か所で週1回実施されています。新型コロナウイルス感染症の影響により活動を一時休止しているグループもありますが、今後も広報紙に掲載するなど、広く周知を行っていきます。(地域保健活動)	市民協働課 保健福祉課 (地域保健活動)

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
10	南委員 (意見票)	【コロナ禍での会議方法について】 今年はコロナ禍を考慮して書面開催で行ったということでしたが、民間企業ではオンライン会議が常識になっています。同じ大阪市でも部分的にもオンライン会議を導入している区もあります。今後、オミクロン株等の影響で、緊急事態宣言が発令された場合、オンライン会議の検討をお願いします。	—	委員のみなさまにお伺いした通信環境を参考に、オンライン会議を併用した会議の開催方法を検討します。	総務課
11	南委員 (意見票)	【外国人との共生について】 西成区のホームページを見ると、千本をone thousandと訳すなど、翻訳誤りが見受けられる。日本語が不自由な方でも安心して暮らしていけるよう、しっかりとしたホームページが必要です。	—	大阪市各区のホームページは、大阪市全体で運用管理しており、翻訳については民間の翻訳機能を使用しています。地名など、正確に翻訳できない場合があります、翻訳の際に注意を促す表示を行っています。 管理部署への働きかけなど、翻訳の改善に向けた取り組みを検討します。	総務課
12	南委員 (意見票)	【孤独死の防止について】 孤独死が多い西成区でコロナ禍が重なり、さらに孤独死が増加するのではないかと危惧しています。「ひと花プロジェクト」を強化して、一人でも高齢者の方の孤独死を防いで欲しいです。	—	孤独死の防止については、福祉施策を中心として、様々な施策が関連する事項ですので、関係部署と連携し、ご指摘の「ひと花プロジェクト」の活用も含めて検討します。	総務課
13	戸崎委員 (意見票)	【あいりん労働センター前のゴミについて】 あいりん労働センター前がごみの山となっている。星野リゾートの開業も控え活気づく状況であり、交通の便もよく発展の可能性が高い場所にも関わらず、なぜ放置されているのでしょうか。	—	あいりん総合センターは、建物を解体して跡地を利活用していく方針ですが、ご指摘のとおり不法占有が続いているため、区分所有者を代表して、大阪府において訴訟を行っているところであり、大阪府からは、訴訟の結果を踏まえて対応する旨を聞いております。	総務課
14	東委員 (意見票)	【区内の病院について】 会議の中で、区内に産婦人科・小児科の病院が少ないというお話がありましたが、病院が少ないことについて、区としてどう考えていますか。また、区として何かできることはありますか。	—	産科医・小児科医が不足している中、産科・小児科の体制構築は広域的課題であり、大阪市では健康局が大阪府と連携して取り組んでいます。区内の病院数について、区として何か取り組むことは困難であると考えています。	保健福祉課 (地域保健)